

田中明彦勉強会

～第一章、二章、「冷戦を考察する」～

0. はじめに

「新しい中世」を考えるにあたって、冷戦というキーワードは欠かせない。なぜなら、冷戦が終結した今でも、その影響は、われわれが立脚するシステムに対して絶大であるからだ。この勉強会では、冷戦とその終結の意味をじっくり考察したい。

★前提

- (a) 冷戦とは、米ソ二極対立である。
- (b) 冷戦とは、二つのイデオロギー対立である。

1. 冷戦とは何であったか

- (1) 冷戦の起源
 - (a) 第二次世界大戦
 - (b) 現実主義…ホブズ『リヴァイアサン』（自然状態）
- (2) 冷戦における3つの戦場
 - (a) 核競争
 - (b) 軍拡競争
 - (c) 第三世界
- (3) イデオロギー
 - ・政治的、経済的自由 vs マルクス、レーニン主義
 - (a) 宣伝、教化、説得競争
 - (b) 経済競争
 - (c) 第三世界による発展競争

2. ポスト冷戦～冷戦後に何が起きるか～

- (1) 二極対立の後に見えてくるもの
 - (a) 単極？多極？
 - (b) 平和へと向かっているのか。
- (2) イデオロギー対立の後に見えてくるもの
 - (a) 歴史世界と歴史後世界の対立

【参考文献】

田中 明彦『新しい「中世」』日本経済新聞社（日経ビジネス人文庫） 2003年